

1919-1950

1951-1969

1970-1989

1990-2011

2012-2021

2022-2030

創業と戦後復興

事業の拡大と高度成長期

機械メーカーへ脱皮

環境事業への進出と  
グループ経営の強化

攻めの経営へ転換

中期経営計画と2030年  
ビジョンの実現に向けて

日エグループの沿革

1919年・日本工具製作株式会社設立  
1920年・ショベル販売開始  
1921年・本社を明石市へ移転  
1934年・第二工場新設、木柄の生産開始  
1938年・第三工場完成、生産開始  
1948年・第四工場竣工、鋳物の生産開始  
1950年・リュースンハンドルの生産・販売開始

1951年・ウインチ、ミキサの生産に着手  
1956年・マンテンショベルの生産・販売開始  
1958年・アスファルトプラント1号機完成  
1962年・東京証券取引所第一部に株式上場  
1963年・自動式バッチャープラント1号機完成  
1966年・ベルトコンベヤの生産開始  
1968年・社名を日工株式会社に变更

1970年・AP新工場、  
1970年・リフト、安全足場板の生産開始  
1971年・公害対策AP完成  
1974年・西ドイツ・ベニングホーヘン社と技術提携  
1979年・米国ボーイング・コンストラクション・イクイPMENT社とドラミキで技術提携  
1986年・東京サービスセンター開設  
1989年・アメリカ駐在員事務所

1991年・開発技術センター新設  
1994年・幸手工場が完成  
1997年・CO<sub>2</sub>削減を目指した新型「WELLパーナ」開発  
1998年・新製品・缶ビン選別圧縮機「リサイクル4」販売開始  
2002年・日工(上海)工程機械有限公司を設立  
2004年・初の海外生産拠点「日工(上海)工程機械有限公司嘉定工場」が竣工  
2006年・NIKKO(THAILAND)CO., LTD. 設立(アスファルトプラント・コンクリートプラントの販売、アフターサービス)  
2011年・山推日工建設機械有限公司武漢新工場完成

2012年・西川貴久が代表取締役社長に就任  
2012年・NIKKO(THAILAND)CO., LTD. 解散  
2015年・ドイツ・クリーマン社の日本総代理店として活動開始  
2015年・山推日工建設機械有限公司 撤退  
2016年・新型アスファルトプラントバリューストックを販売開始  
2018年・テクノセンター(明石)新築  
2018年・モバイル事業部を設置  
2019年・辻勝が代表取締役役に就任  
2020年・Nikko Asia(Thailand)CO.,Ltd. 設立

2022年・中期経営計画(2022-2024)発表  
2023年・ウクライナ復興に向けモバイルプラントを出荷  
2024年・中期経営計画最終年度(目標売上高500億円、営業利益率6.0%)  
2030年・2030年ビジョン(目標売上高600億円、営業利益率10.0%)

M&Aの歴史

2002年・(株)新潟鐵工所からアスファルトプラント部門を譲受  
2006年・三菱重工業株式会社下関造船所よりコンクリートポンプ事業を譲受、日工ダイヤクリート株式会社を設立  
2008年・株式会社前川工業所をグループ会社化  
2012年・日工ダイヤクリート株式会社を吸収合併

2022年・宇部興機株式会社をグループ会社化  
**UBE KOHKI**

2023年・株式会社松田機工をグループ会社化  
**松田機工**

日エグループの提供するソリューション

復興需要に向けたショベル・スコップを提供

各種建設機械を製造販売  
アスファルトプラントの製造販売開始  
バッチャープラントの製造販売開始  
各種機械の大型化と自動化プラントを提供

無公害プラントを提供  
環境と安全を考慮した製品提供  
メンテナンス強化

高品質な生コンの製造技術を提供  
省エネ・低騒音パーナの提供  
環境・リサイクル製品の提供

CO<sub>2</sub>削減や社会課題解決製品を拡充  
災害復興製品のラインアップ強化  
アジア市場へ高品質・高環境性能製品を提供

脱炭素化技術の提案  
環境対応製品の本格展開  
DXを活用した遠隔化・自動化・省人化提案



外部環境

戦後の旺盛な復興需要

1924年・阪神甲子園球場完成  
1936年・国会議事堂完成  
1939年・第2次世界大戦開戦  
1945年・日本、ポツダム宣言受諾  
1950年・朝鮮戦争開戦



創業当時の本社工場

高度成長期

1956年・日本道路公団発足  
1958年・東京タワー開業  
1964年・東京オリンピック開催  
1965年・名神高速道路全線開通  
1967年・公害対策基本法公布



1958年アスファルトプラント1号機の完成

バブル経済と環境意識の高まり

1970年・日本万国博覧会開幕  
1972年・東北自動車道(岩槻~宇都宮)開通  
1978年・成田空港開港  
1983年・中国自動車道全面開通  
1988年・瀬戸大橋開通



1968年 東名高速道路で初めての国産プラント採用 日工製NAP-602

環境に優しい製品ニーズが拡大

1994年・関西国際空港が開港  
1995年・阪神淡路大震災  
2008年・リーマン・ショック  
2010年・中国・上海万博開幕  
2011年・東日本大震災発生



震災復興用プラントの投入

各種災害が甚大化

2012年・東京スカイツリー開業  
2015年・北陸新幹線(東京~金沢)開業  
2020年・新型コロナウイルスがまん延  
2021年・東京オリンピック開催  
2022年・ロシアがウクライナへ侵攻



宇部興機株式会社

ポストコロナ時代

2024年・建設業界の働き方改革法案が適用  
2025年・高輪ゲートシティが開業  
2025年・大阪・関西万博  
2026年・アジア競技大会(名古屋)



モバイルプラント

